



もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

# aito

# 5

May 2025  
No.362





## 大正琴をこれからも奏でていく

羽黒支所管内 杉の子サークルのみなさん



わたしたち「杉の子サークル」は、大正琴サークルとして平成8年頃に発足し、多いときは全体で約500人が在籍。全国大会や東北大会に山形県代表として出場していました。現在はJA庄内たがわ女性部羽黒支部のサークル活動として、4人が1か月に2回（第2・4土曜日）に練習を行い、羽黒支部の女性部まつりで日頃の練習の成果を毎年発表しています。

大正琴は琴とは異なり、木製の中空の胴に2～12本の金属弦を張り、ピアノの様な鍵盤があり、それを左手で押さえて右手のツメで弾いて演奏する楽器で、エレキギターのようにアンプにつなぎ、大ホールでの演奏も可能です。

大正琴をみんなで集まって練習することで息抜きにもなり、頭を使い、指を動かし、背筋を伸ばして演奏することです。つまでも若さがキープできます。毎年の女性部まつりの発表のときは緊張して手が震えることもありますが、みんなで演奏できることを楽しみに、これからも続けていきたいと思っています。

またサークルに参加したい方を随時募集しております。ご興味がある方は羽黒支所管理課までお知らせ下さい。

## 思いやりの心をもってマイペースに!

三川支所管内 菅原 柚蓮ちゃん(2)・蓮桃くん(1)



あいと  
キッズ



優しくマイペースな柚蓮ちゃんは、ばいきんまんが大好きで、パズルが得意。くだもの（特にスイカ）やおしるが大好きです。

蓮桃くんは我が道を行くマイペースな性格。歌に合わせて体を動かしたり、手拍子をするのが大好きです。

## ファミリーファーム

FAMILY FARM

### 本音で地域とつながり盛り上げる



私は、庄内農業高等学校から県立農業大学校へ進学し、卒業後すぐに就農しました。就農当時の経営規模は親から譲り受けた田んぼが4畝。機械は動かせるが、実際に行う稲作はわからないことが多く、地域の他の農家はどうやって栽培しているのか、何を使っているのか直接見に行き、聞きに行き、一から教えてもらいながら、自分なりに試行錯誤して、現在の22畝まで規模を拡大してきました。

「苗半作、八分作」という言葉にあるように、稲作で私がこだわっているのは苗づくりです。「苗の出来によって作柄の半分以上が決まってしまう」という意味で、特に力を入れています。また、当たり前に行っている作業について疑問を持つことを心掛けています。今まで当たり前に行っていた作業も、実はやり方や時期が違ったりと、改めて確認することで新しい発見があります。

農業はいくら機械導入を行っても一人で全て行うことは難しく、常に家族には感謝をしています。妻が畦畔の草刈りや米の調整を行ってくれたり、子供たちが農機具の泥を落として洗ってくれたりと本当に感謝しかありません。

子供たちも農業をしたいと言ってくれているので、今後は50畝位まで規模を拡大し、次につなげる土台をつくっていききたいと思います。さらに「第3回鶴岡ごはん日本一」で最優秀賞を受賞したので、全国のコンクールにも出品し、自分のつくる米の美味しさを確かめたいと考えています。

SHONOSEI TRY

## 庄農生トライ



### 夢中になった農業、魅力を多くの人へ

食料生産科3年 若生 琉介さん

私の祖父はスイカ1.5畝、小麦1.5畝を作付けしており、仕事をしている祖父の後を追うのが私の小さい頃の役目でした。そして、祖父がしている作業を、「自分もやりたい!」とせがむ私に、「しょうがないなあ」と諦めたように笑い、いつも優しくやり方を教えてくれるのが祖父の役目でした。その手伝いが上手いくときもあれば、上手いかなるときもありました。上手いって大雨や強風など、自然に左右される農業は子供ながらに厳しいものだと感じたのを覚えています。そんな中やっとならぬ収穫、そして、それを食べた時の感動は毎年のことながらも、いつも格別で最高の気分になります。それが私をより農業に夢中にさせました。

私は庄内農業高校で農業について学んでいます。そして、未だに農業に夢中です。将来は進学後、農機具メーカーに就職し、この農業の魅力をたくさんの人に発信していきたいと思っています。





# 庄内柿の 摘蕾・摘果

**L品以上比率70%  
安定生産に向けて  
摘蕾がポイント!**

まず、**開花前に** 1枝1蕾を目安に**摘蕾**。  
その後、生理落下が落ち着き  
着果が安定したら仕上げ摘果。  
最終的に、葉25~30枚に1果を  
目安に仕上げる。

**まずは、私たちにご相談ください!**

**南部担当**  
匹田 直宏  
園特指導員

**羽黒担当**  
上野 司観  
園特指導員

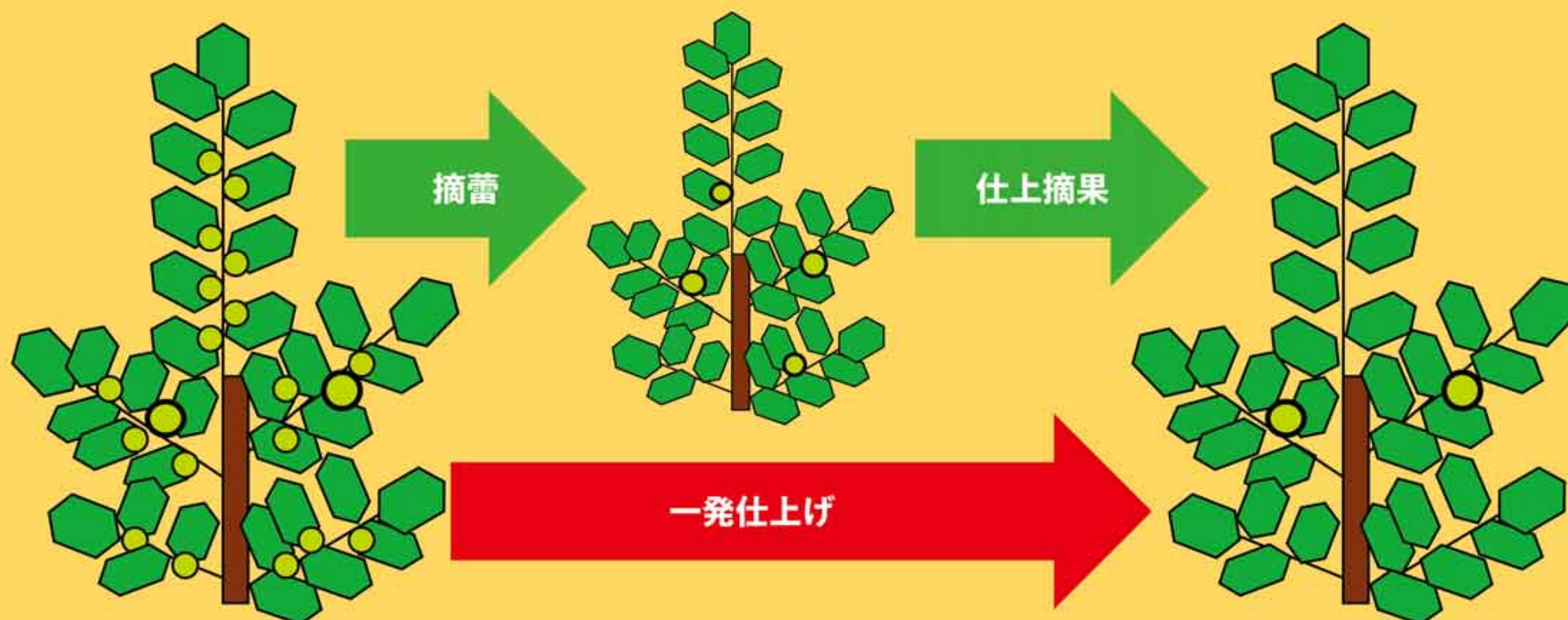
**北部担当**  
今野 正光  
園特指導員

でも、田植え作業と競合して開花後の摘（花）果になってしまう...

そんな方も**一発仕上げ**

一般

一発



**開花前の  
摘蕾の重要性!**

花を咲かせることにより果樹は多くの  
養分を使用してしまうので、  
**花を咲かせる前に数を制限**することで、  
残った果実に養分を集中させて、  
細胞分裂を促してやることが重要。  
果樹の特性上、仕上げ摘果を  
頑張っても肥大効果は薄い。

**注意!!**

通常では奇形果や傷果等を確認しながら  
段階的に行うものを一発で行うため、  
**リスクを伴う**が、開花後の摘（花）果に  
なってしまう場合は少しでも肥大効果を  
高めるためにこの方法を!  
※ 不安な場合は指導員へご相談ください!!



## 健苗育成のため適切な温度管理を

藤島支所管農課は4月21日～25日の5日間、藤島地域で水稲の育苗巡回を行った。巡回した同地域の集落では、生産者らと出芽揃いや生育状況、今後の管理について入念に確認した。生育状況は例年よりやや遅いが、病害の被害はなく順調に推移している。同支所米穀指導員は「例年より低温傾向のため、マルチを掛ける期間が長くなることによるカビの発生が懸念される。今後は気温が高くなる見込みのため、温度管理を徹底してカビの発生や苗の徒長に注意してほしい」と呼び掛けた。同JAでは、引き続き追肥や出芽不揃い対策、障害対策など基本技術の指導と健苗育成に向けて情報発信を進めていく。



## んめ農マルシェ産直協力会定期総会

JA庄内たがわが設置する「んめ農マルシェ」の産直協力会は4月28日、鶴岡市で第7回定期総会を開いた。この日は、協力会員、JA職員ら約20人が出席し、2024年度の活動報告や25年度の役員体制など全4議案を原案通り承認した。25年度の役員体制は、会長に榊引地区の成田新一さんを再任した。25年度は、栽培研修や情報発信、優良会員表彰などで会員の意欲向上を図り、消費者に対してはSNSを活用した宣伝やネットショッピングによる外部販売の強化、消費者還元事業を実施していく。また、総会前に優良会員の表彰を行い、総菜・農産部門から最優秀賞2人を含む計10人が表彰された。



## ブルーベリー・安定生産目指し事業計画確認

JA庄内たがわブルーベリー部会は4月14日、鶴岡市で定期総会を開いた。参加した部会員16人は前年度の事業を振り返り、2025年度の活動計画など全3議案を可決した。24年度は、4月に一部で低温や強風による着果不足の影響を受けたが、5月以降の生育は良好。出荷開始は昨年より早い6月11日となった。7月中旬の気温上昇には、早期収穫や検品体制を強化して対応した。25年度は、防除の徹底と適期収穫による安定した出荷を目指す。また、品質差を解消するために検品体制の向上を図る。また、取引先の新規拡大や、生産者・市場担当者・消費者らの相互理解を目的とした視察研修を予定している。



## 生産組合長会総会・地域農業のリーダーとして

当JAの生産組合長会は4月3日、本所で第30回通常総会を開いた。各地域の生産組合長やJA役員、行政担当者ら約100人が出席。2024年度の事業報告と25年度の事業計画、役員改選を含む全5議案を可決した。役員改選では、25年度の同会会長に温海地域の五十嵐勝昭さんを新たに選任した。24年度は研修会や令和6年産米全量集荷推進大会を実施し、安全・安心な高品質米を継続的に安定供給できる産地づくりを目指した。25年度は、こだわり米の生産拡大や販売促進活動、持続可能な農業の実現に向け運動を展開していく。今後は地域農業振興の核として役割を発揮することを誓った。



地域とJAを結ぶネットワーク 各地の話題を追って

# J A NEWS

## キュウリ・適切な温湿度管理で高品質めざす

鶴岡市榊引地域の下山添野菜出荷組合は4月3日、同地域でキュウリの圃場巡回を行った。参加した同組合の組合員約10人が、2025年産の生育状況や今後の栽培管理を確認した。この日は、種苗メーカー担当者、県庄内総合支庁農業技術普及課の担当職員、JA営農販売部園芸特産指導員が同行し、ハウス11カ所を巡回した。25年産の生育状況は、病害虫被害がなく順調に推移。同担当職員は「これからは曇天が続くため、日光を当てることを心掛け、ハウス内の温湿度管理を徹底してほしい」と呼びかけた。今年産は4月3日から出荷しており、販売量約250㌧を目標に地場および関東市場へ出荷していく。



## 庄内町花き・振興とスマート化目指す

庄内町花き振興会は4月3日、余目町農業協同組合生活センターで2025年度通常総会を開いた。花き生産者と関係者ら約25人が参加し、24年度の活動内容や25年度の事業計画を確認した。同振興会は24年度、フラワーショーやトルコギキョウフェスティバル、フラワーアレンジメント親子教室等の活動を通して、産地としてのPR活動を行った。25年度以降は、町の花き試験圃場にスマート機器の導入促進事業を計画している。生産者と関係機関が一体となって「花のまち」のスマート農業化に取り組み、栽培の省力化と収益化を目指す。



## サクランボ・人工受粉の徹底で結実確保を

さくらんぼ部会は4月17日、羽黒・榊引地域でサクランボの結実対策講習会を開いた。部会員合計約30人が2025年産の高品質生産と収量確保に向けた栽培管理のポイントを学んだ。この日は、県庄内総合支庁農業技術普及課の担当者が講師を務め、栽培時の留意点を説明した。人工受粉は毛バタキなどを使用し、優しく丁寧に他、ハチの活動が悪い場合は必ず実施するよう呼び掛けた。また、使用する毛バタキは汚れたまま使用すると花芽を傷つける恐れがあるため、使用前に洗浄することをアドバイスした。今年度は開花期間中の降雨が多いと予想され、防除と人工受粉の徹底で結実率を向上させる。



## 作付け前に病害対策の徹底を

花き部会菊・スプレー菊専門部は4月25日、本所で栽培講習会を開いた。参加した部員約10人が、2025年産の安定生産に向けて栽培管理のポイントを学んだ。この日は、県庄内総合支庁農業技術普及課の担当者が講師を務め、高品質生産に向けた菊類の土壌病害対策について原因と栽培管理の留意点を説明。土壌病害は作付け後では為す術がないため、作付け前に全ての対策を準備することを促した。対策は、土壌消毒や農機具の洗浄、排水対策の他、残渣など圃場衛生にも留意し、土壌消毒に偏らないよう呼び掛けた。同部員らは、講習会で学んだことを日々の栽培に生かし、高品質・安定生産を目指す。





## 月山ワイン／「第19回フェミナリーズ世界ワイン・コンクール」金賞受賞

ワインの本場フランスのボーヌに国内外から2960アイテムの酒類が集まった『第19回フェミナリーズ世界ワインコンクール2025』で、JA庄内たがわ月山ワイン山ぶどう研究所の赤ワイン「ソレイユ・ルパン メルロ2022」が金賞、「ソレイユ・ルパン 甲州シュール・リー2023」、「ソレイユ・ルパン ベーリー A2022」が銀賞を受賞した。2017年から計5度目の金賞受賞で、月山ワインの品質の高さを世界に示した。

フランスでも知名度が高い同コンクールは、審査員252人

全員が女性でワインの専門家。外観や香り、味わいの審査項目に従って、ブラインド・テイasting審査で評価した。今年は3月17、18日の両日開かれ、日本からは日本ワインや日本リキュール、日本酒、日本産蒸留酒、日本産ビール、日本産シードルの合計で302アイテムが出品された（うち日本ワイン107アイテム）。

月山ワイン山ぶどう研究所の長南正明所長は「世界場で賞を頂き、大変うれしく思う。日本ワインを国内外で知ってもらいきっかけになればいい」と話した。

世界の女性ワイン専門家が審査する

## 第19回フェミナリーズ 世界ワインコンクール2025

**銀賞**

ソレイユ・ルパン  
甲州シュール・リー2023

鶴岡市西荒屋地区で栽培された甲州ぶどう100%使用。フルーティーな香りとキレの良い酸味を持つ辛口ワイン。

白（辛口）アルコール分12.5%  
750ml 2,310円（税込）

ソレイユ・ルパン  
ベーリー A2022

庄内地方で栽培された良質なマスカット・ベーリー A 主体。樽熟成することで程よい樽香とほのかに香るイチゴキャンディの甘い香りが特徴のすっきりとした酸味が感じられる辛口赤ワイン。

赤（辛口）アルコール分12%  
750ml 1,810円（税込）

**金賞**

ソレイユ・ルパンメルロ2022

庄内地方で収穫された良質のメルロ主体。フレンチオークで樽熟成を行った。色調は鮮やかな紫紅色、香りはブラックベリーやイチジクのドライフルーツ度が感じられる。味わいはタンニンと凝縮した果実味がバランス良くまとまった辛口赤ワイン。

赤（辛口）アルコール分12%  
750ml 2,310円（税込）

産直んめ農マルシェ、月山ワイン山ぶどう研究所にて好評発売中！

## 共済Q&A



**Q** 火災共済に加入していますが、火災のとき以外にも受けられる保障はありますか？

**A** 保障部分の火災共済金の他に次の保障があります。

- 水道管凍結修理費用（1回の事故10万円限度）
- 失火見舞費用共済金（1回の事故被災世帯X50万円）共済金額の20%限度
- 損害防止費用共済金
- 地震火災費用共済金（1回の事故につき1建物共済金額の5%）
- 残存物とりかたづけ費用共済金（火災共済金の額の10%限度）
- 特別費用共済金（1回の事故10万円限度）

水道管凍結等ございましたら、各支所共済窓口へお問合せ下さい。

## 信用事業推進大会・目標必達に向け一致団結

JA庄内たがわは4月23日、本所で信用事業推進大会を開いた。目標必達に向けての意思統一を図り、職員3人が決意表明した他、頑張ろう三唱を行い一丸となって取り組むことを誓った。この日は、JA役員をはじめ各支所長ら職員約25人、来賓として農林中央金庫山形支店長が出席。2025年度は、組合員・利用者のニーズに合わせた情報提供や食農教育を通して農業・地域の成長を支援する。また、店舗機能の再編とITを活用した非対面サービスの利用拡大を図り、多様化する経営体に即した金融体制を確立する。海藤喜久男組合長は「地域の農業経営を確かなものとするために信用事業を推進してほしい」と激励した。



## 補助教材寄贈し食と農の大切さ伝える

JA庄内たがわは4月14日、三川町の教育委員会へJAバンクが発行する小学校高学年用の食農教育補助教材『農業とわたしたちの暮らし』を寄贈した。同JA管内では、17小学校へ580部が贈られた。補助教材は、食農教育・環境教育などをSDGsのマークを付し、農業に対する理解を多面的に広げていくことを目的に社会科を中心に総合的な学習などの内容の他、教育現場でのデジタル化の動向を踏まえ、動画に遷移するQRコードについても取り入れている。三川町教育委員会には、当JAの佐藤茂春常務と信用部長、農林中央金庫の担当者が訪れ、齋藤正志教育長に補助教材本を手渡した。



## 共済事業目標必達大会・一丸となり目標必達へ

JAは4月8日、鶴岡市にあるグランドエル・サンで共済事業目標必達大会を開いた。今年度は、組合員・利用者本位の業務運営を徹底し、「ひと・いえ・くるま・農業」の総合保障の提供に取り組む。さらに、教育・研修活動を通して知識・スキルを向上させ、組合員・利用者に寄り添った適切な保障を提案する体制を強化する。この日は、JA共済連山形の関係者やJA役員、ライフアドバイザー（LA）ら約50人が参加した。海藤喜久男組合長は「思いやりの心を持って推進し、目標達成を勝ち取ってほしい」と激励。推進総合目標を1040万ポイントに設定し、必達に向け参加者全員で頑張ろう三唱を行った。



## 第69回山形県縦断駅伝競走大会／鶴岡・田川チームを激励

JAは4月22日、第69回山形県縦断駅伝競走大会に出場する鶴岡・田川チームへ激励品として「出羽三山の水」と「山形代表りんごジュース」を贈呈した。この日は、本所で激励会を開催し、同チームの佐藤伸一総括と奥泉伸総監督をはじめ、監督兼選手として出場する職員の吉泉亘短期共済係長（共済部保全課）が出席。海藤喜久男組合長が激励品を手渡し「熱中症に気をつけて頑張ってもらいたい」と激励した。初日の第7区藤島～狩川コース6.8kmを出走する吉泉係長は「監督兼選手としてチームメンバーに気を配りながら、思い入れのある地元の区間を走り切りたい」と意気込みを語った。





★はいちやくは 配置薬 劇場

ドラッグストアが近くになくて、薬をなかなか買いに行けないなあ…

一人暮らしだから、体調が悪くても自分で薬を買いに行けないかも…

万が一に備えて、防災グッズとして救急用品も置いておきたいわね…

皆様の悩みは全て「クミアイ家庭薬」が解決♪中身のお薬はお客様にとって必要なセットにカスタマイズできますよ！

お問い合わせ先 平日 9時～17時  
TEL (0574)-49-9701

協同薬品工業株式会社  
〒997-0802 鶴岡市伊勢原町13-10 電話番号:0235-26-7617

## 介護の不安 ご相談ください

ご家族に介護が必要になったとき、分からないこと、不安なことがたくさんあります。

おばあさん、病院からそろそろ退院するように言われたけれど、どうしよう。

年寄りの一人暮らしだから、家事の準備とか買い物を手伝って欲しい。

うちのおじいさん、足腰が弱くなってきたから、デイサービスに通わせたいな。

自分の力で歩きたいけれど、何か良い福祉用具はないかしら。

介護に関するご相談をケアマネジャーがお受けします。自宅での生活に困ったときに、専門的な視点から、介護を受ける方、また、ご家族にとって最適な介護サービス(訪問介護、デイサービスなど)を利用できるようにお手伝いいたします。

総務部福祉介護課 TEL:0235-33-8165 FAX:0235-33-8166 E-mail:fukushi@ja-shonai.or.jp

## JA 庄内 産直 め農 マルシェ 6月イベントのお知らせ

6/14日・15日 父の日フェア  
国産牛各種1P1,000円  
月山ワイン、焼酎などの酒類各種レジにて10%割引  
この機会にぜひご利用ください！

6/21日・22日 さくらんぼフェア  
さくらんぼ各品種(佐藤錦を中心)に店頭並びます!!  
送料は全国一律950円(クール便)  
※ただし、沖縄、一部離島は除く。

6/28日・29日 夏野菜実フェア  
地元生産者自慢の夏野菜、果実が皆様のご来店をお待ちしております。

SNSもチェックしてね!  
X (旧Twitter) @jashonai730  
Instagram ja\_shonai.marche  
LINE ID @498zaitei

JAカードでお買い上げの方は 請求時に5%割引!

4月から9月までの営業時間9:00~17:30(定休日:なし)  
なお、営業時間は諸事情により変更になる場合があります。変更の際は、ホームページなどにてお知らせします。  
〒997-0824 鶴岡市日枝字小真木原88-1 TEL0235-25-6778 FAX0235-26-7880 E-mail:sanchoku@ja-shonai.or.jp

農産物を出荷していただける産直協力を随時募集しています!

オンラインショップ 産直 め農 マルシェ 検索

## 令和7年度「庄内地域農業経営実践講座」受講生募集

受講期間 令和7年5月～令和7年12月 各コース4～6回程度  
会場 庄内総合支庁農業技術普及課又は酒田農業技術普及課及び現地  
対象者 新規就農者、就農希望者、経営改善を目指す農業者 各コース10人程度 受講経験のある方も再度受講可  
コース名 (1)稲作基礎コース (2)野菜基礎コース (3)花き基礎コース (4)果樹基礎コース  
(5)畜産基礎コース (6)農産加工基礎コース (7)複式簿記コース  
受講料 無料(但し、教材費等の実費をいただく場合があります)  
申込期限 令和7年5月23日(金)

〈鶴岡市、庄内町、三川町担当〉 庄内総合支庁農業技術普及課 熊谷  
〒999-7601 山形県鶴岡市藤島字山ノ前51 TEL.0235-64-2103 FAX.0235-64-2104  
〈酒田市、遊佐町担当〉 酒田農業技術普及課 吉田  
〒998-0857 山形県酒田市若浜町1-40 TEL.0234-22-6521 FAX.0234-22-6522

## 俳句・添削指導 阿部月山子先生

特選 添削

沈丁の 香や二番目に 好きな人  
沈丁の 香や二番目に 好きな人

樹々揺らし 大空覆ふ 杉の花  
樹々揺らし 大空覆ふ 杉の花

黒文字の 楊枝の触り 道明寺  
黒文字の 楊枝の触り 道明寺

梅が五分咲き 湯治宿  
梅が五分咲き 湯治宿

では又の 又はいつくる おぼろ月  
では又の 又はいつくる おぼろ月

春愁や 空き部屋ひとつ 旅立つ子  
春愁や 空き部屋ひとつ 旅立つ子

立ち上がる 波を離る 潮の花  
立ち上がる 波を離る 潮の花

立ち上がる 波より飛べり 潮の花  
立ち上がる 波より飛べり 潮の花

鶴岡市東岩本 高橋 秀子  
鶴岡市東岩本 高橋 秀子

鶴岡市東岩本 高橋 秀子  
鶴岡市東岩本 高橋 秀子

鶴岡市東岩本 高橋 秀子  
鶴岡市東岩本 高橋 秀子

鶴岡市東岩本 高橋 秀子  
鶴岡市東岩本 高橋 秀子

鶴岡市東岩本 高橋 秀子  
鶴岡市東岩本 高橋 秀子

鶴岡市東岩本 高橋 秀子  
鶴岡市東岩本 高橋 秀子

鶴岡市東岩本 高橋 秀子  
鶴岡市東岩本 高橋 秀子

鶴岡市東岩本 高橋 秀子  
鶴岡市東岩本 高橋 秀子

鶴岡市東岩本 高橋 秀子  
鶴岡市東岩本 高橋 秀子

## 理事会だより

令和7年4月30日水

第1号 令和6年度事業報告書等及び剰余金処分案の考え方について(案)  
第2号 令和6年度下期座談会意見・要望に対する回答について(案)  
第3号 令和6年度資産の自己査定(本査定)結果について(案)  
第4号 令和6年度貸倒引当金(個別)繰入について(案)  
第5号 令和6年度中期経営計画及び令和7年度事業計画及び役員報酬の承認について(案)  
第6号 令和6年度決算報告、令和7年度事業計画及び役員報酬の承認について(案)  
第7号 固定資産の取得について(案)  
第8号 理事と組合員の利益相反取引の承認について(案)  
第9号 令和6年度「内部統制システム基本方針」運用状況の開示について(案)  
以上9議案、慎重に審議され原案通り決定されました。

報告事項  
・組合員の異動について  
・令和7年度教育普及普及運動方針について  
・令和7年度女性大学「あいとスクール」開校について  
・令和7年度信用事業推進方策について  
・令和7年度共済事業推進活動要領について  
・令和7年度産米取扱い方針について  
・令和6年度園芸作物価格補填事業補填金交付について  
・JA庄内たがわ園芸作物価格差補填事業実施要領の改定について  
その他

「心の声」6月号投稿のテーマ「GWは何をして過ごしましたか?」  
【応募方法】下記の①～③を郵便はがき・Eメールにご記入の上ご投稿ください。①テーマの答え(本紙やホームページ等で掲載致します)②住所・氏名・年齢・電話番号③広報誌の感想、JAへの意見・要望など  
【あて先】JA庄内たがわ広報情報係 〒999-7611 鶴岡市上藤島字備中下3-1 E-mail:kouhou@ja-shonai.or.jp  
【しめきり】令和7年5月31日(出) 当日消印有効  
※投稿頂いた方の個人情報は、目的以外には使用いたしません。

### 今月のプレゼント



1名様



地元の製造業の現場事務として生産管理の仕事に頑張っています。休日は家族で県外へ旅行に行ったり、子供と遊んだり、子育てを楽しんでいます。今後は、海外旅行、特にカルフォルニアのディズニーランドに行きたいです。  
撮影場所＝桶山公園

# 「心の声」

おすすめのグルメを教えてください！

藤島の喰処ぽっとの肉うどん肉が大好きでジューシー。 N・Sさん【鶴岡市】

鶴岡市大塚町「Dining 花」さんがおススメです。ランチも美味しいですし、定食もボリュームがあり種類も豊富で選ぶの迷ってしまいます。テイクアウトができる「花のこだわり弁当」も美味しいです。 K・Yさん【鶴岡市】

焼き肉千山閣さんの「山形牛」です。ぜひおすすめですよ。社長さんが温かく迎えてくれますよ！ Y・Sさん【鶴岡市】

グルメ＝美味しいモノが沢山ある庄内。シュルクリームが美味しい店が酒田にあります。知る人ぞ知る町の菓子屋さん。価格も控え目でお菓子好きの自分には最高です。 M・Hさん【庄内町】

大安は有名ですが、京都はお漬物屋が他県に比べて多く、レベルが高いと思います。なかでも、王生菜漬は京都を代表するグルメです。 M・Kさん【京都府】

 aito

発行／庄内たがわ農業協同組合

〒999-7611

山形県鶴岡市上藤島字桶中下3-1

TEL.0235-64-3000

電子メール tagawa@ja-shonai.or.jp

印刷／庄内農村工業農業協同組合連合会

May 2025 No.362



ホームページ



X (Twitter)



Instagram